

## Presario 8716/8770 FDISK・リストア手順

### FDISK・リストア作業を実施される前に

- ・作業にあたり、「クイックリストアCD」と「クイックリストアCD起動用ディスク」を、お手元にご準備下さい。また、リストア後のWindowsセットアップで、Windows95 ファーストステップガイド表紙記載のプロダクHD入力が必要となります。プロダクHDの入力がないとWindowsが起動出来ず、マシンをご利用頂けません。必ずご用意の上、作業を始められますようお願い致します。
- ・周辺機器（ハードディスク、メモリ、LANカードやSCSIカード等）を増設している場合、リストアが正常に終了しない場合があります。リストア作業をする場合は周辺機器を取り外してから作業を実施して下さい。
- ・リストアを実施するとハードディスク内のデータは全て消去されますので、ご注意下さい。作業前に必ずデータのバックアップをお取り下さい。

### 再起動の方法について

- ・コンピュータを再起動する場合は、キーボードからCtrl]+[Alt]+[Delete]キー（機種によっては[Del]キー）を同時に1度押します。
- ・この操作を数回繰り返しても再起動しない場合、コンピュータの電源ボタンを4秒以上押し続けることで電源を落とし強制終了することができます。強制終了後は10秒以上経過してから電源を入れ起動して下さい。

以下作業手順

## 1. BIOSのセットアップデフォルト

まずは、ハードウェア構成を司るBIOSの設定をデフォルト値に戻します。

- 1) 電源投入後、赤いCOMPAQロゴマークが表示されましたら [F10] キーを数回押します。
- 2) 「ようこそCOMPAQユーティリティへ」という画面が表示されます。画面上の説明文をご確認の上、「了解」を選択します。
- 3) 「COMPAQユーティリティ」が表示されましたら、「コンピュータのセットアップ (SETUP)」を選択します。
- 4) 画面上、最下部にある「デフォルト値」を選択して下さい。[Enter] キーを押すと「コンピュータの設定を既定値にセットアップします。」「はい」「いいえ」の選択を求めてきますので、「はい」を選択して下さい。
- 5) 以上、BIOS はデフォルト値に戻ります。次の作業に入る為、「終了」を選択します。「コンピュータのシステムコンフィギュレーションが変更されました。新しいコンフィギュレーションを保存し、コンピュータをリセットしますか」というメッセージが表示され、「はい」「いいえ」「キャンセル」という選択肢が表示されますので、「はい」を選択し、再起動します。

## 2. FDISK コマンドによる領域の削除

- 1) クイックリストア CD 起動用ディスクをセットし、マシンを再起動します。
- 2) 言語の選択」を要求されますので、「日本語」を選択します。
- 3) 「重要」という画面で、クイックリストア CD の仕様について説明が表示されます。そこで「続行」を選択します。
- 4) 「COMPAQ クイックリストアへようこそ。このユーティリティを使用すると出荷時にインストールされていたソフトウェアを簡単に復元することができます。」

「続行しますか」 「はい / いいえ」  
ここでは、「いいえ」を選択します。

「クイックリストアを終了してよろしいですか」 「はい / いいえ」  
ここでは、「はい」を選択します。

- 5) 画面上に「A:¥>」というコマンドプロンプトが表示されます。  
「A:¥>**fdisk**」と入力し [Enter] キーを押します。  
入力は、大文字/小文字どちらでも構いません。

- 6) 下記のメニューが画面上に表示されます。

- (1) MS-DOS 領域、または、論理 MS-DOS ドライブを作成
- (2) アクティブ領域の設定
- (3) 領域、または、論理 MS-DOS ドライブの削除
- (4) 領域情報を表示

現在の NON-DOS 領域以外の領域を解放 (何も無い状態にする) するため、上記のメニューより、「3」を選択して下さい。

- 7) 下記のメニューが表示されます。

- (1) 基本 MS-DOS 領域を削除
- (2) 拡張 MS-DOS 領域を削除
- (3) 拡張 MS-DOS 領域内の論理ドライブを削除
- (4) 非 MS-DOS 領域を削除

上記のメニューより、「3」を選択して下さい。

- 8) 下記のようなメッセージが表示されます。

削除した論理ドライブのデータは全てなくなります。」  
「どのドライブを削除しますか。」 [ ]

[ ]内にアルファベットで表示されているドライブ名 (通常 D)を入力し、[Enter]キーを押します。また、ボリュームラベルを求められますが、何も入力せず、[Enter]キーを押します。最後に「よろしいですか」と確認されますので、「Y」を入力し、[Enter]キーを押します。「ドライブを削除しました。」とメッセージが表示されます。

- 9) FDISK を続けるので、[Esc]キーを選択して下さい。FDISK メニューが表示されたら、再度、**3**を選択します。
- 10) 削除メニューが表示されますが、次に拡張 MS-DOS 領域を削除しますので、**2**を選択し、[Enter]キーを選択して下さい。
- 11) 下記のようなメッセージが表示されます。

削除した拡張 MS-DOS 領域のデータが全てなくなります。」  
続けますか。」 [ ]

[ ]内に「Y」を入力し、[Enter]キーを選択して下さい。

拡張 MS-DOS 領域を削除しました。」とメッセージが表示されます。

- 12) FDISK を続けるので、[Esc]キーを選択して下さい。FDISK メニューが表示されたら、「**3**」を選択します。
- 13) 削除メニューが表示されますが、今度は基本 MS-DOS 領域を削除しますので、「**1**」を選択し、[Enter]キーを選択して下さい。
- 14) 下記のようなメッセージが表示されます。

削除した基本 MS-DOS 領域のデータは全てなくなります。」  
「どの基本領域を削除しますか。」 [ ]

[ ]内に各ドライブにあたる番号 (通常 **2**)を入力し、[Enter]キーを押します。  
また、ボリュームラベルを求められますが、何も入力せず、[Enter]キーを押します。  
最後に「よろしいですか」と確認されますので、「Y」を入力し、[Enter]キーを押します。

基本 MS-DOS 領域を削除しました。」というメッセージが表示されます。  
[Esc]キーで FDISK のメニューへ戻ります。

以上の操作で、非 MS-DOS 領域以外の領域が解放されます。

### **3. FDISK コマンドによる領域の作成**

今回は領域を作成します。

- 1) FDISK メニューより「**1**」を選択します。
- 2) 下記の作成メニューが表示されます。
  - (1) 基本 MS-DOS 領域を作成
  - (2) 拡張 MS-DOS 領域を作成
  - (3) 拡張 MS-DOS 領域内に論理 MS-DOS 領域を作成

上記のメニューより「**1**」を選択して下さい。

- 3) 下記のようなメッセージが表示されます。

基本 MS-DOS 領域に使用できる最大サイズを割り当てますか。  
(同時に領域をアクティブにします)  
[N]を入力し、[Enter]キーを押します。

[ ]

- 4) 下記のようなメッセージが表示されます。

ディスクの容量は            バイトです。  
領域に割り当て可能なサイズは            バイトです。

割り当てる領域のサイズをM バイトか割合で入力して下さい。  
最大可能サイズを割り当てます。

基本 MS-DOS 領域を作成します。  
領域を指定したら [Enter] キーを押します。

[ ]

基本 MS-DOS 領域を作成しました。」というメッセージが表示されます。  
FDISK メニューに戻るため、[Esc] キーを押します。

- 5) 拡張領域を作成しますので、FDISK メニューの「1」を選択します。  
6) 作成メニューの「2」を選択します。  
7) 下記のメッセージが表示されます。

領域に割り当て可能なサイズは            バイトです。

割り当てる領域のサイズをM バイトか割合で入力して下さい。  
拡張 MS-DOS 領域を作成します。

[ ]

[ ]内に残りの容量サイズを割り当てて下さい。その後、[Enter]キーを押します。

拡張 MS-DOS 領域を作成しました。」というメッセージが表示されます。  
FDISK メニューに戻るため、[Esc] キーを押します。

- 8) [Esc] キーを選択すると、FDISK オプションメニューではなく、下記のメッセージが表示されます。

論理ドライブ領域に割り当て可能なサイズは            バイトです。

割り当てる領域のサイズをM バイトか割合で入力して下さい。  
論理 MS-DOS ドライブを作成します。

[ ]

[ ]内に拡張 MS-DOS と同じ容量サイズを割り当てて下さい。  
その後、[Enter] キーを選択します。

論理 MS-DOS ドライブを作成しました。」というメッセージが表示されます。  
FDISK メニューに戻るため、[Esc] キーを押します。

FDISK のメニューが表示されますが、現在のままではアクティブ領域がないため、リストアすることができません。次にアクティブ領域を設定します。

- 9) FDISK メニューより「2」を選択します。

10) 下記のようなメニューが表示されます。

「アクティブにしたい領域の番号を入力して下さい。」 [ ]  
[ ]内には「2」を入力し、[Enter]キーを押します。

領域がアクティブになりました」というメッセージが表示されます。  
[Esc]キーを選択し、FDISKのメニュー画面に戻ります。

以上の操作で PRE-DOS 領域と EXT-DOS 領域を新たに作成することができます。

## 4. フォーマット

作成した領域にファイルシステムを構築します。

- 1) クイックリストア CD 起動用ディスクセットをセットし、マシンを再起動します。
- 2) 「言語の選択」を要求されますので、「日本語」を選択します。
- 3) 「重要」という画面で、クイックリストア CD の仕様について説明が表示されます。そこで「続行」を選択します。
- 4) 「COMPAQ クイックリストアへようこそ。このユーティリティを使用すると出荷時にインストールされていたソフトウェアを簡単に復元することができます。」

「続行しますか」 「はい / いいえ」  
ここでは、「いいえ」を選択します。

「クイックリストアを終了してよろしいですか」 「はい / いいえ」  
ここでは、「はい」を選択します。

- 5) 画面上に「A:¥>」というコマンドプロンプトが表示されます。  
「A:¥>format c: /u」と入力し [Enter] キーを押します。  
はスペースキーを表します。入力は、大文字/小文字どちらでも構いません。

「ドライブCのハードディスクのデータは全てなくなります。」  
「フォーマットしますか。」 [ ]

[ ]内には「Y」を入力し、[Enter]キーを選択して下さい。

- 6) フォーマットが始まりますので、100%完了するまでしばらくお待ち下さい。  
フォーマットが終了するとボリュームラベルをつけるよう求められますが、空欄のまま [Enter] キーを押します。

- 7) 続いて D ドライブにもファイルシステムを構築します。  
「A:¥>format d: /u」と入力し [Enter] キーを押します。  
はスペースキーを表します。入力は、大文字/小文字どちらでも構いません。  
C ドライブと同じ画面表示があります。

以上の操作でフォーマット作業が終了します。

## 5. クイックリストア CD による復元

工場出荷時状態に戻します。

- 1) クイックリストア CD 起動用ディスク、クイックリストア CD をセットし、マシンを再起動します。
- 2) 「言語の選択」を要求されますので、「日本語」を選択します。
- 3) 「重要」という画面で、クイックリストア CD の仕様について説明が表示されます。そこで「続行」を選択します。
- 4) 「COMPAQ クイックリストアへようこそ。このユーティリティを使用すると出荷時にインストールされていたソフトウェアを簡単に復元することができます。」

「続行しますか」 「はい / いいえ」  
ここでは 「はい」を選択します。

- 5) ソフトウェアの選択。ご利用のマシンの機種を選択します。
- 6) 機種の確認、及び、続行の確認の後、リストアが開始されます。
- 7) リストアが終了したら、起動ディスク、クイックリストア CD を抜いてから、再起動します。

## 6. Windows95 のセットアップ

- 1) 再起動後、「Windows セットアップへようこそ」という画面が表示され、下記のようなメニューが表示されます。

- (1) 情報収集
- (2) コンピュータの環境設定
- (3) コンピュータの再起動

「次へ」を選択するとお客様の情報収集が開始されます。

- 2) ユーザー情報 名前、会社名を入力します。(名前のみでも結構です。)
- 3) 「Windows95 のライセンス」画面が表示されます。「次へ」を選択します。
- 4) 「使用許諾契約書」(Certificate of Authenticity)という画面にて、プロダクトID を入力します。  
プロダクトID はファーストステップガイドにてご確認下さい。
- 5) (2)コンピュータの環境設定が行われます。しばらくお待ち下さい。
- 6) 下記メッセージが表示されます。

セットアップが完了しました。フロッピーディスクドライブからディスクを取り出して下さい。  
コンピュータを再起動して、Windows 環境を作ります。

- 7) どれかキーを選択すればマシンが再起動し、Windows95 が起動します。

以上の操作でリストアの完了です。

以上